

令和6年度 学校関係者評価委員会 議事録

I 日時 令和6年6月6日 木曜日 午後4時00分～午後5時20分

II 会場 学校法人 美専学園 北海道芸術デザイン専門学校 1階 会議室

III 出席者

星槎道都大学 客員教授/彫刻家	國松明日香
グラフィックデザイナー 元評議員	篠宮利恵子
宮の沢明日佳病院 看護部長	松田 香織
有限会社 I.B.Design 代表取締役	櫻井 俊二
北海道芸術デザイン専門学校 校長	根上 和也
北海道医薬専門学校 校長	飯田 知男
北海道芸術デザイン専門学校 就職課主任	稲葉 未紗
北海道医薬専門学校 進路指導部長	木村 紀行

IV 次第

- (議長) 医薬校長 飯田
- 1 開会の挨拶 芸術校長 根上
- 2 委員紹介
- 3 学校評価(自己評価)の結果と今後の改善等について
各校長より説明
- 4 就職状況の報告
各校就職担当者より説明
- 5 委員からの意見聴取及び評価

(1) 教育理念・目的・人材育成像

芸・評価 医・評価

○ 理念・目的・育成人材像など学科の特性が明確になっているか	3.8	3.5
○ 各学科の教育目標・育成人材像は業界のニーズに向けて方向づけられているか	3.7	3.4

意見等 ●「理念・目的・育成人材像など学科の特性が明確になっているか」は自信をもって4をつけられるような学校になってほしい。
●デザイン校と医薬校で横断的な取り組みが可能なものがあれば実施してはどうか。

(2) 学校運営

芸・評価 医・評価

○ 目標等に沿った学科運営方針が明確になっているか	3.8	3.5
○ 教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3.7	3.4

意見等 課題・助言事項なし。

(3) 教育活動		芸・評価	医・評価
	○ 教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が示されているか	3.7	3.5
	○ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3.8	3.8
	○ 資格取得の指導体制はカリキュラムの中で体系的に位置づけられているか	3.1	3.4
	○ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる指導体制を確保しているか	3.8	2.8
意見等	<p>●「教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が示されているか」について。どこまで教えたいかという教員の判断にもよるが、4がつけられるよう目指してほしい。</p> <p>●アンケートでは数値化できない部分があると感じる。ファインアート系の芸術を学ぶ状況が将来仕事をすると考えた時に壊滅的となりつつある状況が危惧される。</p> <p>●コンペの積極的応募は自分の作品を客観的に見る機会。今後も積極的に。</p>		
(4) 学修成果		芸・評価	医・評価
	○ 就職率の向上が図られているか	3.2	3.4
	○ 退学率の低減が図られているか	3.0	2.8
意見等	<p>●退学するしないではなく、低減を図るためのシステムティックなものを構築したほうが教員の負担の軽減につながるのではないか。</p> <p>●就職決定率が高いのは素晴らしい。維持できるよう努力を。</p> <p>●卒業後も長い目で気を配っていただきたい。</p>		
(5) 学生支援		芸・評価	医・評価
	○ 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.0	3.1
	○ 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	3.7	3.8
意見等	<p>●教育内容は良いと思うが、コミュニティー能力の低い学生に対し自信をつけさせられるよう指導をして欲しい。</p> <p>●授業料分割納入制度など学校独自で実施していることは評価できる。</p>		
(6) 教育環境		芸・評価	医・評価
	○ 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか	3.0	3.3
	○ 防災に対する体制は整備されているか	3.5	3.5
意見等	<p>課題・助言事項なし。</p>		
(7) 学生の受入募集		芸・評価	医・評価
	○ 学生募集活動は、適正に行われているか	3.4	3.3
	○ 学生募集活動において教育成果は正確に伝えられているか	3.1	3.5
意見等	<p>●短大の閉鎖や4年制のデザイン学科の廃止など道内の教育環境を考えると専門学校ニーズは今後必要となる。</p> <p>●適切だと思うが、多方面からアイデアを出し合うことも良いと考える。</p> <p>●就職後に活躍している卒業生の情報も伝えることも必要かと。</p>		

(8) 財務

芸・評価 医・評価

中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか

3.5

3.6

財務について会計監査が適正に行われているか

3.8

3.8

意見等

課題・助言事項なし。

(9) 法令の遵守

芸・評価 医・評価

個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか

3.5

3.5

意見等

課題・助言事項なし。

(10) 社会貢献・地域貢献

芸・評価 医・評価

学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか

3.4

2.8

意見等

●回復傾向にあるのは良いこと。今後も貢献活動を続けて欲しい。

(11) 国際交流

芸・評価 医・評価

留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って行っているか

2.9

2.8

意見等

●少子化等、今後の国の情勢を考えると必要性を感じる。

(12) 全体を通じて

意見等

●看護職においては、若い看護師の専門職に就いている意識が下がっている印象を受ける。難しいことはしたくない、スキルアップに関心がない、アセスメントを苦手と公言するなど。また看護師免許を取得しても美容系に行きたいという若者が増えている。看護の精神のとの乖離やなぜ看護師になりたいかという部分が希薄。

●色彩心理学の分野の応用が日本は遅れている。それを研究する機関もない。デザインと医療系学校としてそのようなことを考えても良いのではないか。

※「芸・評価」「医・評価」は、外部委員による評価(4段階)平均値